

御所湖随想

H23年10月 No.29

秋の装い

10月2日に岩手山が初冠雪、例年より11日早い。御所湖の木々の緑も多少色あせてきている。湖岸を眺めると、やや紅葉している木があります。カスミザクラです。サクラ類は9月の声とともに紅葉が始まっており、すでに落葉してしまったものもあります。栗ひろいもそろそろ終わり。今年は豊作だったのでしょうか、ビニール袋いっぱい栗を入れた人を見かけます。また、クルミも豊作でした。内緒ですが、乗り物広場の一画にテウチグルミの木が数本あります。これにもたくさんのクルミの実がなりました。実を拾おうかと足を向けたところ、キツネもクルミの木に向かってきました。私の動きに気付いて、向きを変えましたが、クルミひろいに来たのでしょうか。また、朝早くの乗り物広場で、リスに出会いました。その歩みの先には



栗の木があったので、こちらは栗ひろいに来たのかもしれませんが。それとも松の実でしょうか、クルミやドングリ、トチノキの実もあります。動物たちにとっては、御所湖の森の恵みがごちそうなのですね。栃の実と言えば、焼酎につけたものが打ち身などに効くそうです。

ナナカマド

秋の装いはこのように‘紅葉’‘木の実’そして‘落ち葉’だったりしますが、他には野草の花もその一員です。湖岸を彩っていたエゾミソハギも今はすっかり枯葉色。しかし、散策路や広場の周りには野菊をはじめにいろいろな花が見られます。幾つか紹介しますので、散歩がてら探してみてください。



アキノキリンソウ



アケボノソウ



サラシナショウマ

この他にミヤギノハギ、リンドウ、センブリ、ノコンギク、コウゾリナ、ヤクシソウなどの花も楽しめます。